

学科 学年	S1	科目 分類	保健体育 Physical Education	実技 必修	H19 前期+ 集中 2履修 単位	学習教育 目標 E	担当	白根 弘也 SIRANE Hiroya
概要	生涯にわたるスポーツライフを営んでいく上で、新しい運動を自分で習得したり、集団で運動を楽しむということは重要なファクターとなる。本授業においては、バスケットボールとサッカーの授業を用いて、スポーツにおける基礎技能の獲得や基本的な戦術を学習していくにより、集団で運動を楽しむ方法を理解していく。また、運動実施上の安全に関する知識を学習する。							
科目目標 (到達目標)	バスケットボールでは、集団の特性にあった防御を選択させ、ゲームの展開ができるようにする。サッカーでは基本的な技能を中心としたゲームにより戦術的な理解を深める							
教科書・器材等	テキストは特に使用しないが、必要に応じて資料を配付する。							
評価の基準と 方法	実技試験の成績（到達度）を60%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力状況を40%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	ガイダンス						
第2回		バスケットボール 1. 現状技能の把握						
第3回		2. 現状技能の把握・チーム分け						
第4回		3. 基礎技能の練習 (パス)						
第5回		4. 基礎技能の練習 (シュート)						
第6回		5. 基礎技能の練習 (ドリブル)						
第7回		6. 集団技能の練習 (オフェンス)						
第8回		7. 集団技能の練習 (オフェンス)						
第9回		8. 集団技能の練習 (ディフェンス)						
第10回		9. 集団技能の練習 (ディフェンス)						
第11回		10. ゲーム形式での総合練習						
第12回		11. ゲーム形式での総合練習						
第13回		スポーツライフにおける安全の確保 1						
第14回		スポーツライフにおける安全の確保 2						
第15回		スポーツライフにおける安全の確保 3						
第16回								
第17回		* 16回～30回の後期分は集中授業にて行う。						
第18回		この集中授業では、リフティング、パス、シュートなどのボールコントロールや						
第19回		ミニゲームなどを通じたサッカーの基本的戦術が学習される。						
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
オフィスアワー	放課後に、質問等に対応することができる。							
授業アンケートへの対応	授業内容の改善をすることにより対応する。							
備考								
更新履歴	070131 新規							